

科目名	授業形態	単位数	担当教員名
教育相談(カウンセリングを含む)	講義	2	番匠 明美
<p>【授業のテーマ及び到達目標】 テーマ:子どもひとりひとりの“自分らしさ”を生かすために</p> <p>到達目標:①子どもたちの自立を支え促すために教師ができる関わりの工夫を理解することができる。②個々の子どもに応じた支援のために発達障害などの様々な障害やいじめなどの子どもを取り巻く問題についてその特徴を理解することができる。③教育相談と生徒指導のそれぞれの特徴を理解することができる。④保護者支援や他機関との連携について理解することができる。</p>			
<p>【授業の概要】</p> <p>子どもたちは、友人関係や家庭の問題等個々に様々な課題を抱えつつ過ごしている。児童生徒の発達課題をふまえながら相談活動を行っていくことは、子どもたちがより主体的な日常性を生きる支えとなる。また、個々に応じた支援を受けることにより、障害をかかえる子どもたちが学校のなかに自分の居場所を見つけ自信を持つことができる。このような教育相談の視点から子どもと保護者の支援の可能性を検討していく。</p>			
<p>【全体の授業計画・内容】</p>			
1. オリエンテーション			
2. 教育現場でのカウンセリング			
3. カウンセリングの基礎知識			
4. 教室で実践するカウンセリング・アプローチ			
5. 教室で実践するカウンセリング・アプローチ の事例 ①問題の検討			
6. 教室で実践するカウンセリング・アプローチ の事例 ②アプローチの実際			
7. 心をとらえる技法 ①理論			
8. 心をとらえる技法 ②実践			
9. 心をとらえる技法 ③分析			
10. 子どもひとりひとりの“自分らしさ”を生かすには			
11. 支援を必要とする子どもたち ～不登校等の問題から			
12. 支援を必要とする子どもたち ～かかわりのポイント			
13. 心に痛みを抱える子どもの相談の実際 ①問題の把握と相談のプロセス			
14. 心に痛みを抱える子どもの相談の実際 ②親支援			
15. 発達障害を抱える子どもを支える			
<p>【準備学習の内容】</p> <p>予習のあり方:ニュース等で取り上げられる子どもの問題について常に興味関心を持っておくこと。</p> <p>学習のあり方:学んでいる内容を子どもとのかかわりに自分ならばどのように生かせるかを検討する。</p> <p>復習のあり方:学んだ内容から疑問点やテーマを見つけ、調べるなどして考察を深めるようにする。</p>			
<p>【成績評価】</p> <p>提出物(70%) 受講態度(30%)</p>			
<p>【課題(試験・レポート等)に対するフィードバックの方法】</p> <p>小レポートに記述された質問に授業内でコメントし受講者の理解を深める。</p>			
<p>【テキスト】</p> <p>特に指定せず、必要に応じて資料等を配布する。</p>			
<p>【参考文献】</p> <p>角田豊他 『子どもを育む学校臨床力』 創元社 ・ 森田健宏他 『教育相談』 ミネルヴァ書房</p>			